4-093-291-**01** (2)

# 取扱説明書
# 安全のために

**ご使用の前に、この「安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、内部に約700ボルトの高い電圧を使用しているので、間違った使い方をすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

## 定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検リスト」に従って点検してください。
2年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

## 故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

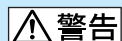
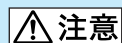
## 万一、異常が起きたら

- **煙が出たり、焦げくさいにおいがしたら**
- **テレビを見ているときや、スタンバイ状態**（画面が消えていて、STANDBY/SLEEPランプが赤く点灯中）**のときに、テレビ内部から異常な音がしたら**
- **内部に水などが入ったら**
- **内部に異物が入ったら**
- **テレビを落としたり、キャビネットを破損したら**

**❶ 電源を切る**
**❷ 電源プラグをコンセントから抜く**
**❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**⚠危険**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**⚠警告**
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

**⚠注意**
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

**下記の注意を守らないと**
**火災・感電・破裂により**
**死亡や大けがなどの人身事故**
**が生じます**

## 設置と移動

### 本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

火災

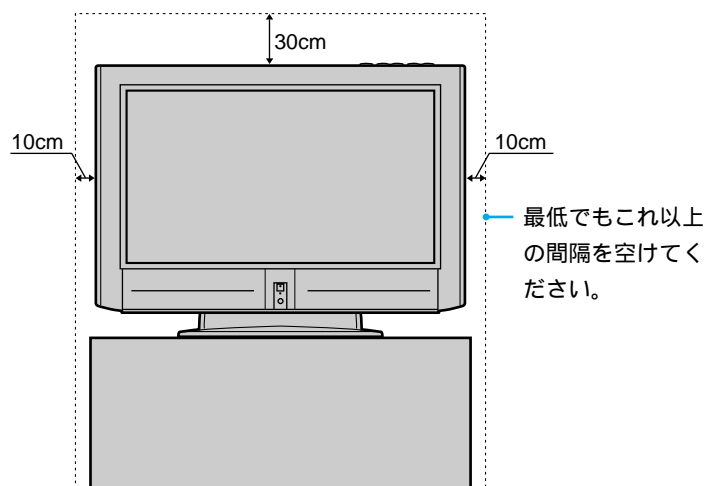
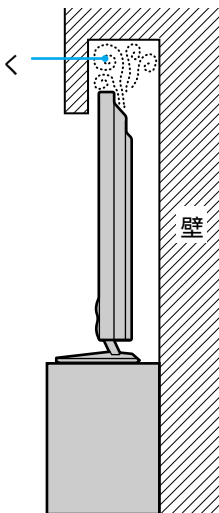
感電

**下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

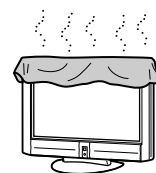


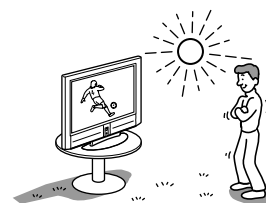
## 設置と移動

### 周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔から空気が抜けなくなり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

下図ような設置はおやめください。

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、汚れることがあります。風通しをよくするために、壁には埋めこまないでください。

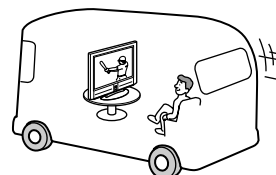
- 棚や押入の中に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 布をかけない

### 屋外で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。

火災　感電

**下記の注意を守らないと**
**火災・感電により死亡や**
**大けがの原因となります。**

### 乗物の中や天井に設置しない

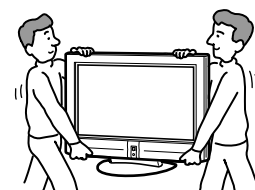
移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁止

### 風呂場やシャワー室など、水のかかる場所で使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

風呂・シャワー室
での使用禁止

### 2人以上で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、テレビが落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。

### 移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグをコン
セントから抜く

### テレビにぶらさがらない

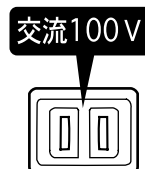
テレビが倒れ、テレビがラックや台から落ちたり、壊れたりして、大けがの原因となることがあります。

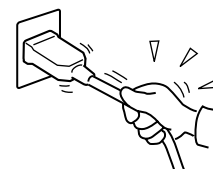
禁止

**下記の注意を守らないと**
**火災・感電により死亡や**
**大けがの原因となります。**

## 電源

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を越えると、発熱により、火災の原因となります。

### 電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

### ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。
電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

### ケーブルを配線するときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

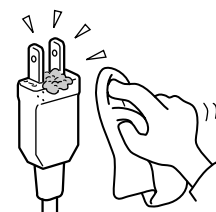
### ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

### 電源プラグは定期的にお手入れを

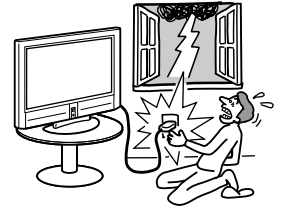
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやホコリがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取ってください。

火災

感電

**下記の注意を守らないと**
**火災・感電により死亡や**
**大けがの原因となります。**

## 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

## その他

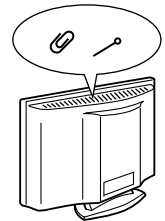
## テレビの表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまでテレビの表面に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずにテレビの表面に触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

## 通風孔に異物を入れない

内部に金属類や燃えやすい物が入ると火災や感電の原因となります。

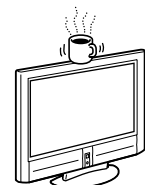
禁止

## 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

禁止

## テレビの上に水が入ったものや、重いものを置かない

感電や故障の原因となります。また、テレビが倒れ、テレビがラックや台から落ちたり、壊れたりして、大けがの原因となることがあります。

禁止

**下記の注意を守らないと**
**火災・感電により死亡や**
**大けがの原因となります。**

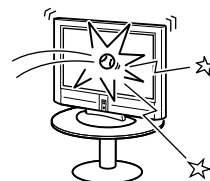
## 本機を水で濡らしたりしない

感電や故障の原因となります。

## 濡れた手で触れない

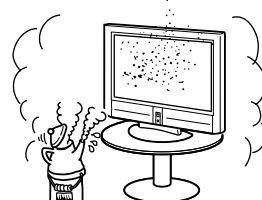
本機を濡れた手で触ると、感電したり、本機が故障して発煙することがあります。

## テレビの表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

**下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

## 設置と移動

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱機具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

### 海の近くでは本機の金属が塩分で腐食し、発熱や発火を起こすことがあります

海の近くで本機を使用すると、機器寿命が短くなることがあります。

### 転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、テレビが倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。
転倒防止の処置のしかたについては、別冊の取扱説明書（☞34ページ）をご覧になり、正しく行ってください。間違った処置をすると、感電の原因となることがあります。

### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、テレビが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。ラックなどは、ソニー指定のもの（別売り）など充分に強度があるものをお使いください。

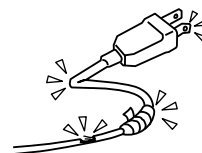
**⚠注意** 下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 電源

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない
- 電源コードに重いものをのせたり、引っ張ったりしない
- 電源コードを熱器具に近づけない、加熱しない
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

万一、電源コードが傷んだらただちに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください

### お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

### 長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## その他

### 他の機器をテレビに近付けすぎない

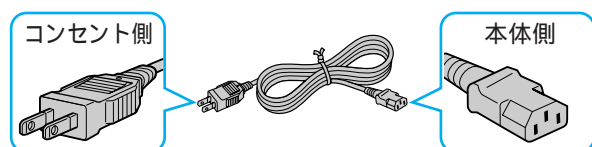
他機を設置する場合は、テレビから30cm以上離して設置してください。特にビデオデッキなどは、テレビの前面や側面に置くと画面が乱れることがあります。

### テレビの表面に手を触れない

電源を切った直後は熱くなっていることがあります。

# 使用上のご注意

## 電源について

付属の電源コードをお使いください。別売りの電源コードをお使いになる場合は、下図のプラグ形状例を参考にしてください。

## 見る場所について

- 画面の縦の長さの4〜7倍を目安にした場所でご覧になることをおすすめします。見やすくて目が疲れません。
- 暗すぎる部屋は目が疲れますので、おすすめしません。適度な明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間テレビを見ていると、目が疲れますのでご注意ください。

## テレビを載せる場所について

広くて水平で丈夫な場所に置いてください。また、テレビスタンド、ラックなどに載せるときは、テレビとの間にものを挟まないようにしてください。特にテレビの幅よりも極端に狭い幅のものを挟んだりしないようご注意ください。ものを挟むと、テレビに負荷がかかり破損することがあります。

## 設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。

## 音量について

- 周辺の人の迷惑にならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用をおやめください。

## 画面の焼き付きや残像について

下記のような画像を画面上に一定時間表示し続けると、部分的に焼き付きや残像が発生することがあります。特に「ダイナミック」などの高輝度な映像では起こりやすくなります。これはプラズマディスプレイパネルの特性上起こるものであり、以下の「焼き付きや残像を軽減させるために」を行うことにより、焼き付きや残像を軽減できます。

**焼き付きや残像が発生しやすい状態**

- 上下に帯が表示されるワイド画像（レターボックス映像）
- 画面横縦比4：3の映像
- ゲーム映像、DVDのメニュー画面、BSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメニュー、文字放送などの静止画像

## 焼き付きや残像を軽減させるために

**Ⓐ つないだ機器の画面表示を消す。**

BSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの映像に切り換えたときに画面に表示されるチャンネル番号やメニューなどは、BSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ、DVDプレーヤー側の画面表示操作で表示を消すことをおすすめします。詳しくは、お使いのBSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

**Ⓑ 画面いっぱいに映像を映す。**

画面の焼き付きや残像が気になる場合、画面モードを「ワイドズーム」や「フル」に切り換えて映像を表示すると、画面の焼き付きや残像を軽減できます。

## 輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常に点灯する画素がある場合があります。ご了承ください。
また、画面の上下端および左右端に常に光らない部分がありますが、故障ではありません。

## リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

## ディスプレイのガラス表面の取り扱いについてのご注意

ディスプレイのガラス表面は反射による映りこみを抑えるため、特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、次のことを必ずお守りください。また、ガラス表面は傷つきやすいので固い物などでこすったり、たたいたり、物をぶつけたりしないでください。

## ディスプレイのガラス表面のお手入れについてのご注意

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 長時間視聴した直後は、ガラス表面が熱くなっていますので、触れないでください。
- ガラス表面は特殊な表面処理をしているので、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- ガラス表面は特殊な表面処理をしているので、なるべくガラス表面に触れないようにしてください。
- ガラス表面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使って拭いてください。
- ガラス表面の汚れがひどいときは、付属のクリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を少し含ませて拭いてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどは、ガラス表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

## 外装のお手入れについてのご注意

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげるなど、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、絶対に使用しないでください。

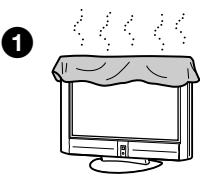
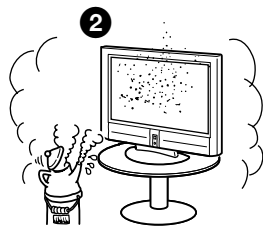
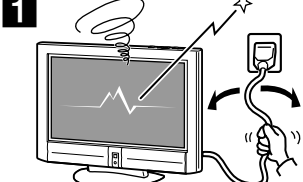
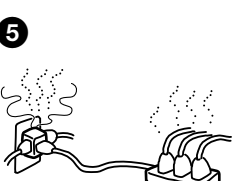
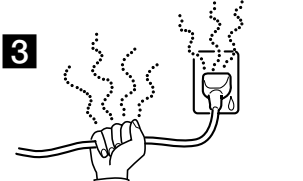
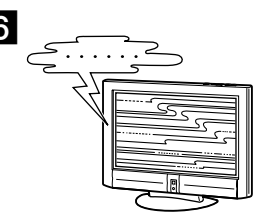
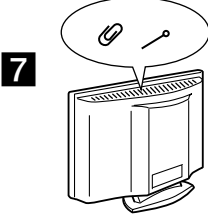
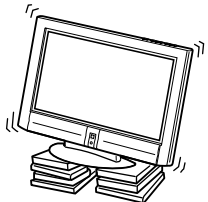
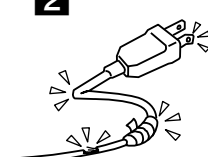
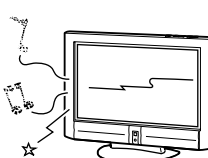
## 乾電池についての安全上のご注意

液漏、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

**⚠警告**

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

**⚠注意**

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

愛情点検

# <テレビ>安全点検チェックリスト

## 安全点検項目

| No. | 点検項目 | |
|---|---|---|
| ❶ | 布やテーブルクロスなどで**通風孔をふさいで**いませんか | **設置場所と設置方法** |
| ❷ | **水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に置いていませんか | |
| ❸ | **不安定な場所**に置いたり、**不安定な置きかた**をしていませんか | |
| ❹ | 電源コードが**物（椅子、机、台など）の下敷き**になっていませんか | **電源コードとプラグ** |
| ❺ | **たこ足配線**をしていませんか | |
| 1 | 電源コードを動かしたとき、**電源が入ったり切れたり**しませんか | |
| 2 | 電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、キズがついたり**していませんか | |
| 3 | 電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか | |
| 4 | **異常な熱や煙**が発生したり**変な臭いや音**（パチパチ）がしませんか | **テレビ本体** |
| 5 | 電源を入れても**画像や音が出ない**ことがありませんか | |
| 6 | **画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか | |
| 7 | **通風孔から水や異物**（紙・虫・クリップ・ピンなど）が入った形跡がありませんか | |
| 8 | **故障状態のまま**使用していませんか | |

| | 点検結果　年／月　◯良い　×悪い | | | | | 処置手順 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ | |
| ❸ | | | | | | ×印の項目があるとき → **そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。** → 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。 |
| 2 | | | | | | 一つでも×印があるとき → **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** → お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。 |
| 8 | | | | | | |

**商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ**

**ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/**

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

**お客様ご相談センター**

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35
http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan